

苦小牧市まちを緑にする会
創立50周年記念誌

50th
ANNIVERSARY

苦小牧市まちを緑にする会の誕生



苦 小牧の緑化については非常に困難の多いところと言われていた。自然条件の土壌、気象のどれ一つをみても、樹木の生育には厳しく過酷な条件が多かった。海岸線に沿って細長く東西方向に伸びた市街地形態から、潮風による塩害は免れない。さらに、潮流の交わる関係から樹木の生育期の5月から8月には、40日前後の海霧日数があり太陽をさえぎるのである。土壌は支笏火山、樽前火山の噴灰により、火山灰・礫が1メートルにわたって堆積しており、土壌の改良無しでは、木は育たないといった状態であった。また、当時は人々の緑化意識も低く、「植えてもどうせ枯れてしまう」と言ったあきらめムードが大勢を占めていた。〔中略〕こうした状況の中で、経済界の有志の方々と行政との懇談の中から、工業都市を指向する苦小牧にあっては、都市環境を改善して住みよいまちづくりには、緑化は必要欠くことのできないものとして認識され、この結果、全市をあげて緑化推進運動を起こすに至ったのである。

昭 和45年12月に緑化を推進する母体を設立するため、苦小牧市、市議会、商工会議所、営林署、民間企業の関係者が集まって発起人会が開かれたのである。当初会の名称は「苦小牧市緑化運動推進委員会(案)」とされていたが、発起人会の中で緑の少ない苦小牧の緑化を積極的、永続的に行うため、官民共同、全市民参加の盛り上がりの中で緑化を進めようと、名称も「苦小牧市まちを緑にする会」と命名された。そして、翌年の昭和46年1月20日、緑化を通じて生活環境の美化と市民の健康、情操を高めるため「苦小牧市まちを緑にする会」の設立総会が開かれ「緑化思想の啓発宣伝」と「緑化事業の推進と協力」が大きな事業内容として掲げられ、正式に発足したのである。こうして、緑豊かな苦小牧を目指し、全市民参加のもと官民が一つになり、文字通り全市あげての緑化運動に一步を踏み出したのである。

苫小牧市まちを緑にする会 創立50周年記念誌

50th ANNIVERSARY

目次

- 2 記念誌発刊にあたり
苫小牧市まちを緑にする会
会長 桑村 文昭
- 3 記念誌発刊によせて
苫小牧市長 岩倉 博文
- 4 50周年のあゆみ
- 20 会の受賞歴
- 21 緑の募金について
- 22 植樹実績
- 24 苫小牧市まちを緑にする会
歴代役員



シンボルマーク

昭和54年に苫小牧市の植樹100万本の達成を目指し、市民一人ひとりの手で緑のまちをはぐくむ事をデザインした。

デザイン 杉 浩子

緑ゆたかなふるさとを 親から渡そう子等の手へ

スローガン

昭和55年に緑ゆたかな街を子孫に残すため、郷土に特色のある樹木などを植え、四季おりおりの景観を楽しみながら緑のふれあいのでられる豊かで潤いのあるまちづくりを目指すことを目標に決定した。

記念誌発刊にあたり

苫小牧市まちを緑にする会
会長 桑村 文昭



苫小牧市まちを緑にする会は、昭和46年の創立以来今年で50周年を迎えることとなります。50年もの長きに渡り緑化推進活動が続け、節目の年を迎えることが出来ましたことは、ひとえに多くの諸先輩方、行政機関をはじめとした各種団体、企業、そして市民の皆様のご支援とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

昭和40年代前半の苫小牧は、樹木の生育には厳しい自然条件と急速な都市化の進行により、緑の少ないまちと評されておりました。当会は、こうした状況の中、市民の有志の方々が苫小牧の緑化を推し進めようと、昭和46年1月20日に創立いたしました。

創立時から、緑の羽根募金(現 緑の募金)活動や市民植樹祭、花壇コンクールなど、市民とともに様々な緑化活動を行ってきた結果、現在では、道内有数の緑豊かな都市となりました。

当会創立50周年を迎えた令和2年度は、新型コロナウイルス感染症というこれまで経験したことのない事態に直面し、人との接触を自粛するため、第50回目を迎えるはずであった市民植樹祭をはじめ、多くの事業を中止や延期とすることになりました。

このようなコロナ禍にあって、木々や花からうける癒しや、緑化活動を通じての人との繋がりや助け合いの大切さを、より強く実感することになりました。

当会は、今後も先人たちの意思を引継ぎ、『緑ゆたかなふるさとを親から渡そう子等の手へ』のスローガンのもと、苫小牧の緑化推進を継承してまいりますので、市民の皆様の一層のご協力とご支援をお願い申し上げ、本誌発刊のご挨拶といたします。

記念誌発刊によせて

苫小牧市長 岩倉 博文



苫小牧市まちを緑にする会は、昭和46年1月、本市の緑化を通じて、生活環境の美化と向上を図り、市民の健康と情操の高揚に資することを目的として、関係機関、団体ならびに、学識経験者の方々のご協力のもと創立されました。以来、様々な緑化活動にご尽力をいただいておりますが、このたび大きな節目となる創立50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

創立当時、「緑が少ないまち」と言われた本市が、現在の「緑豊かなまち」へと成長できたことは、貴会のご尽力によるものであり、これまでの功績に対し、深く敬意と感謝を申し上げます。

本市は、人間環境都市として豊かな自然と調和した、文化の薫り高く潤いのある快適な生活環境の中で、共に生き生きと心豊かに暮らしながら、全ての市民が持てる能力で社会に貢献し、未来に向かって挑戦し続けるまちを目指したまちづくりを進めております。この理想の都市「人間環境都市」を実現していくため、今後も貴会のご協力を引き続きお願い申し上げます。

近年、気象変動により多発する自然災害、そして、コロナ禍という未曾有の事態において、「緑」は、地球温暖化の原因とされるCO₂を吸収し、また、人々に癒しとやすらぎを与える、私たちの生活にはかけがえのないものとあらためて認識するところであり、貴会が果たす役割はますます重要になるものと考えます。

このたびの創立50周年をステップとして、貴会が今後ともますます発展され、緑の価値を高めていただきますことをご祈念いたしまして、本誌発刊にあたってのお祝いの言葉といたします。

50周年のあゆみ

▶ 昭和46年1月20日

苦小牧市まちを緑にする会創立

創立総会を市役所にて開催、役員委員34名が出席し初代会長に武内貞一氏が選出された。

▶ 昭和46年

緑の羽根募金運動 ～継続中

平成8年から緑の募金運動へ名称変更
当会創立時より継続している。
春(4～5月)と秋(9～10月)の2回行われ、市民の協力のもと街頭募金や町内会募金を行い、事業所や学校にも募金箱の設置の協力をお願いしている。

市民植樹祭 ～継続中

当会創立時より実施しており、毎年市内で市民参加のもと開催している。



市民植樹祭

樹木等の配布 ～平成元年

苗木(サクラやイチイ等)や花の種子などを無償もしくは格安で有償配布していた。

緑の塔の設置 ～昭和48年

緑化思想普及標語募集

～昭和48年

緑化啓発講演会及び技術講習会

～昭和48年

研修視察

～昭和48年



緑の塔

緑の塔

「まちを緑に」のパンフレット作成 (3,000部)



ガールスカウトによる緑の羽根街頭募金



花壇造成



学校花壇コンクール

▶ 昭和47年

花壇造成 ～継続中

花の道花壇は旭中央通で各造園業者等に花壇を割り当て造成した。旭中央通がカルチャーストリートとなった以後は当会が市民会館の花壇を造成している。

花の道花壇(旭中央通) (S47～H8)

カルチャーストリート (H9～H12)

旭大通 (H13～H23)

旭町1号歩行者道 (H24～H27)

市民会館前 (H28～)

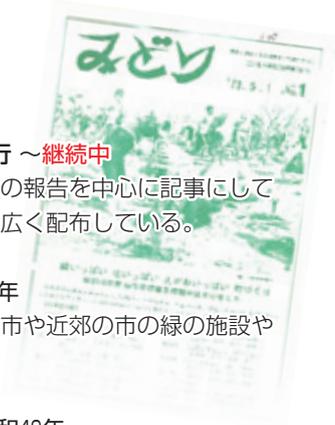
緑化思想の普及懸垂幕及び看板設置

家庭の庭コンクール

▶ 昭和48年

広報誌「みどり」の発行 ～継続中

当年度行った事業等の報告を中心に記事にして作成。会員や市民に広く配布している。



緑の研修旅行 ～平成元年

市民を対象に苦小牧市や近郊の市の緑の施設や緑地を視察した。

家庭の庭技術指導 ～昭和49年

市民が講師となり「我が家の庭づくり」と題し庭造りの上での体験談を語り今後の庭造りの参考とした。

勇弘中学校開基百年記念学校植樹

樹木銀行の開設

いらなくなった木や、木が必要になった人を登録し斡旋した。

▶ 昭和49年

学校花壇コンクール ～継続中

市内の小中学校を対象に学校敷地内につくっている花壇を審査し、子どもたちの情操の高揚と校庭の美化を目的として開催している。

学校緑化担当者技術講習会

▶ 昭和50年

林間教室 ～昭和58年

小学3年生～中学3年生が集まり苗畑や造林地などに行き樹木や伐採の様子を見学した。

緑化写真コンクール 緑化推進重点地区の指定



▶ 昭和51年

緑化カレンダー発行 ～平成6年

会の行事、樹木・芝草の主な管理メモを盛り込んだカレンダーを、会員や寄付をいただいた企業、募金の関係者、町内会館等に配布した。

緑化カレンダー

市民植樹100万本運動がスタート ～昭和55年

当会緑化推進運動のほか国、道、市、町内会、企業、各種団体などによって市内に植えられた樹木498,000本と合わせて昭和55年までに植樹100万本を目指すと同時に市民一人一人が緑に親しみ育ててゆく運動を行った。

緑化先進都市視察（仙台・盛岡）

▶ 昭和55年 10周年

市民植樹100万本達成記念感謝祭

東小学校グラウンドにおいて記念式典、市内のパレードを行った。

10周年記念誌発刊 緑化功労表彰受賞

長期目標スローガン決定

「緑ゆたかなふるさとを、
親から渡そう子等の手へ」

緑ゆたかな街を子孫に残すため、郷土に特色のある樹木などを植え、四季折々の景観を楽しみながら、緑のふれあいのでられる豊かで潤いのあるまちづくりを目指す。



▶ 昭和52年

緑化推進講演と技術講習会

講師を招き「緑化と町づくり人づくり」「植物の育て方のポイントと楽しみ方」と題した講演を行った。

▶ 昭和53年

園芸教室 ～昭和62年

講師を招き実技指導や管理指導などを行った。

▶ 昭和54年

生垣コンクール

住宅・道路などと調和した美しい生垣づくりとその保存を通じて良好な生活環境を推進する目的で開催した。

シンボルマーク決定

シンボルマーク



50周年のあゆみ

▶ 昭和56年

緑化ポスター募集

緑化の手引き「緑豊かな街を」発行
「市民の森」造成の要望書を市長へ提出

▶ 昭和57年

育樹祭・育樹会 ～平成2年

「緑豊かなふるさとを親から渡そう子等の手へ」を目標に植える緑から育てる緑への活動の一環として剪定や肥料入れ等を行った。

緑の使節団派遣 ～平成2年

市と当会が共催した作文コンクール中学生の部で入賞した生徒や、学校花壇コンクール優秀校の生徒児童が参加し、仙台市や道内等を視察した。

作文コンクール ～昭和59年

「よりよい環境を求めて」をテーマに環境週間の実施にあたり市と共催した。

緑化啓発看板作成(カラマツ製) ～昭和58年



緑化啓発看板

モデル生垣の造成

生垣の良さを見直し緑豊かな街づくりを進め、あわせて地震等による災害防止に役立つ生垣の普及を図るため造成を行った。

街路樹植栽で国・道に要望書提出

「樹木愛護の家」制度発足 ～昭和63年

家の近くの街路樹の手入れ(簡単な剪定、植樹樹の除草、落ち葉の片付け、乾燥時の水やり、生垣の手入れなど)を市民の手で行い、愛情をもって引き継ぐために発足した。



フラワーボックス

▶ 昭和58年

町内会花壇コンクール ～開催中

老人クラブから子ども会までの参加と花と緑と人のふれあいを一層強める目的のため開催している。

樹木ボックス設置 ～平成6年

当会で作成した樹木型のプランターを貸与して商店街や通りに設置して緑化に努めた。

駅前広場花壇造成 ～平成元年

花いっぱい運動の一環として花壇を造成した。



駅前広場花壇

青少年植樹祭 ～昭和60年

緑豊かな街づくりは時代を担う青少年の手でと、小学生から高校生、ボーイスカウトや父母が参加して行われた。

花壇コンクール写真展 ～昭和60年

花壇づくり講習会 ～昭和59年

生垣コンクール

道路と建物に調和した美しい生垣の良さを見直し、緑豊かな街づくりを進めることを目的として開催した。

生垣コンクール写真展



自然観察会

▶ 昭和59年

自然観察会 ～平成14年

親子で苫小牧近郊の森林や観光地を見学し、自然に親しみ、郷土の自然を学ぶことを目的に博物館と共催した。

フラワーボックスの設置 ～昭和63年

市内の事業所、商店街を花いっぱいになろうと、カラマツ材製のフラワーボックスを市内の商店街などに配布し、道路に設置した。

緑とのふれあい写真コンクール

建設大臣感謝状受賞

苫小牧市
郷土貢献者賞受賞



写真コンクール

中国天津市から緑化研修生の受け入れ指導

中国天津市の園林緑化研究所員が緑の研修旅行や緑の使節団に同行した。

▶ 昭和60年

15周年記念事業

小中学校に記念樹配布
「15年の歩み」を発刊

北海道知事感謝状受賞

北海道産業貢献賞受賞

「市の花」制度の要望書提出

「市の花」の指定がなかったため市長へ制定を
要望した。(昭和61年9月27日制定)

▶ 昭和61年

役員研修～昭和63年

企業緑化の表彰

内閣総理大臣賞受賞

5月27日首相官邸にて中曽根首相から表彰状と
記念の盾が授与された。

▶ 昭和62年

花の路通り造成(新苫小牧川緑地)～平成元年

新苫小牧川沿いの緑地、国道36号線側からJR
線路までの約700mの区画に3年計画で花を植
えた。

第11回全国育樹祭に参加

9月14日に支笏湖畔モーラップ地区において皇
太子同妃両殿下をお迎えし開催された。

▶ 昭和63年

フラワープランター、記念樹の斡旋～平成元年

家庭内の花いっぱい運動と緑化を推進する目的
で斡旋を行った。

グリーンライトの推進～平成元年

夜の景観を高めるため当会から市へ提唱、市が
これをうけ苫小牧駅南口広場のロータリーの植
込み地に水銀ランプ6基を取り付けた。

サンガーデン完成記念講演会

当会、市、造園協同組合の共催で講師を招き講
演会を開催した。

▶ 平成元年

緑化講習会～平成2年

講師を招き「わが家の庭づくり」「指導者を対
象とした花壇づくり」の講習を行った。

花の名所と生垣写真展

イボタ・イチイ・ヒバ・ツタ等を使った民家の
生垣や市道の生垣40カ所と樽前公園のエゾキス
ゲ等の花の名所16カ所を写真で紹介した。

▶ 平成2年 20周年

森林浴ハイキング～平成6年

一般市民を対象に自然観察会と同様の行事で秋
に実施していた。

緑の彫刻(トピアリー)の作成～平成3年

市民文化公園に植物による造形物を作成した。

役員研修～平成3年

緑化啓発花壇造成



緑化講習会



花の名所と生垣写真展



グリーンライトの推進



50周年のあゆみ

▶ 平成 3 年

緑の週間新聞広告(苫小牧民報) ~継続中

花壇コンクール写真展 ~平成 6 年

森林教室(緑のバス見学会) ~平成13年

前年度の学校花壇コンクールの入賞校を対象として、アルテンでのキャンプや、苫小牧近郊の森林等で自然を学ぶ体験学習を行った。

学校育樹会 ~平成 5 年

当会が選出した市内小中学校の1~2校を対象に施肥・植樹を実施した。

20周年記念行事

20周年記念講演会

記念樹木有償配布

20周年記念式典及び記念植樹祭



緑のバス見学会

ハンギングバスケット講習会 ~平成17年

ハンギングバスケットをガーデニングに取り入れて一般市民を対象に講習会を実施した。



ハンギングバスケット講習会

市民文化公園整備完成記念式典

苫小牧市森林組合創立50周年記念式典

▶ 平成 6 年

啓発冊子パンフレット配布 ~平成24年

啓発看板補修

役員研修

公共道路の緑化推進について要望書を提出

▶ 平成 4 年

緑化啓発花壇造成 ~平成 8 年

文化公園中央広場の緑化啓発花壇に花苗を植栽した。

緑化講習会

「だれでもできる花壇づくり」、「目で見る花のヨーロッパ」と題して講演会を実施した。

山野草写真展

野草及び木の実・木の花の写真44点をサンガーデンにおいて展示した。

20周年記念誌発刊

啓発看板補修

金太郎の池レストハウスオープン式典

苫小牧ベンチャークラブ認証式

さわやかトーク共和国主催の桜の木植樹祭

▶ 平成 7 年

市民植樹200万本達成記念

緑ヶ丘公園通り隣接地で200万本達成を記念し、市民による「千本桜並木」整備をめざし、エゾヤマザクラ150本を植樹、参加者にサクラの苗木を贈呈した。

花いっぱい写真展

前年度の花壇コンクール入賞花壇、胆振支庁「まち中の杜」写真展と共催した。

▶ 平成10年

森と水を守る植樹祭 ~平成14年

竜巻や台風の被害にあった国有林で苫小牧営林署(現在は胆振東部森林管理署苫小牧森林事務所)との共催で植樹祭や育樹祭を開催した。

▶ 平成 5 年

おしゃれ園芸コンテスト

(フラワープランター装飾コンテスト) ~平成28年

花を用いて美しい快適な生活環境作りを推進する目的でコンテストを開催した。(ハンギングバスケット講習会で作成した作品と市民からの応募)



おしゃれ園芸コンテスト

▶ 平成11年

苫小牧の植物写真展

苫小牧市内の植物の写真展を苫小牧市と共催、緑ヶ丘展望台で実施した。

▶ 平成12年 30周年

30周年記念行事

30周年記念講演会

30周年記念誌発刊

▶ 平成13年

竹とんぼづくり教室

講師を招き親子で竹とんぼを作り、その作品で競技会を開催した。

緑のマスコット・トピアリーを作る講習会 ～平成14年

講師を招きミズゴケとツタを使いクマのトピアリーを作る講習会を実施した。

▶ 平成14年

樹木探索会 ～継続中

身近にある自然への関心を持ってもらう

ことを目的に市民を対象に樹木について学習会を実施している。



樹木探索会

緑化施設見学会 ～継続中

森林教室(緑のバス見学会)の参加対象を市民へ広げたもの。緑に親しむことで楽しさや大切さを知ってもらうことを目的に苫小牧市や近郊の緑の施設等の見学会を実施している。



緑化施設見学会

▶ 平成18年

清水排水路跡地植樹 ～平成22年

排水路の地中化に伴い地上部の緑化を行った。

園芸講習会「冬に向けての鉢花管理」

ガーデニング講座の一環として鉢花の管理についての講習会を開催した。

サクラの肥料入れ(緑ヶ丘公園祭り協賛)

緑ヶ丘公園祭りの協賛行事として、造園協同組合と共催で公園内のサクラ200本への肥料入れを市民200人の参加で行った。

秋期植樹活動

ウトナイ湖バードサンクチュアリーにおいて、緑の少年団84名その他120名で第58回全国植樹祭開催記念行事としての、植樹会を北海道森と緑の会の緑化助成を受け実施した。



秋期植樹活動

美園小緑の少年団によりウトナイユース跡地植樹 校庭の樹木ウォッチング(美園小緑の少年団活動行事)

美園小学校緑の少年団活動行事として、校庭の樹木に名札50枚を付けながら身近にある木について学習した。



美園小緑の少年団

▶ 平成19年

菊づくり講習会 ～継続中

緑化の普及・推進として苫小牧菊花同好会と共催で菊づくりの講習会を開催している。

全国植樹祭来客歓迎花飾りの作成

全国植樹祭来客を歓迎する花づくりを一般市民からボランティア募集し、ハンギングバスケット192基、プランター46基を作成し、市内の沿道に飾り付けた。延べ38名の参加協力があった。また開催当日まで毎週1度の澆水、花がら摘みの管理も行った。

第58回 全国植樹祭への参加

6月24日に静川のつた森山林隣接地において天皇皇后両陛下をお迎えし開催された。



第58回 全国植樹祭

▶ 平成22年 40周年

40周年記念行事

40周年記念植樹
40周年記念誌発刊

50周年のあゆみ

平成23年

緑の募金活動

町内会、老人クラブ他団体による街頭募金
職場、学校、町内会、老人クラブ募金

緑化啓発普及

緑の新聞広告の掲載
「花壇の作り方」小冊子の配布
広報「みどり」の配布
花いっぱい運動で花の種の配布

菊づくり講習会

一般市民を対象に3回にわたって開催した。

第41回 市民植樹祭

苫小牧市立病院南側敷地において7種282本の植樹を行った。

ふれあい花壇の造成

市民会館前花壇に春はチューリップ、夏はマーガレット・ペチュニア、秋は小菊主体の花壇を造成した。

第19回 おしゃれ園芸コンテスト

フラワープランターの部22点、ハンギングバスケットの部に15点の出品がありフラワーマスター他7名の審査により入賞作品が選出され展示が行われた。

第29回 町内会花壇コンクール

町内会・老人クラブ等13団体が参加した。
最優秀賞 柏木豊陵公園フラワークラブ

第38回 学校花壇コンクール

市内小中学校33校が参加した。
最優秀賞 澄川小学校

緑化施設見学会

「百合が原公園」と「花ロードえにわ」の見学会を行った。

樹木探索会

錦大沼公園錦小沼の周りを散策した。



第41回 市民植樹祭



緑の募金活動 街頭募金
ガールスカウト



菊づくり講習会



ふれあい花壇

平成24年

緑の募金活動

町内会、老人クラブ他団体による街頭募金
職場、学校、町内会、老人クラブ募金
当会役員によるセレモニー(苫小牧駅前)

緑化啓発普及

緑の新聞広告の掲載
「花壇の作り方」小冊子
広報「みどり」の配布
花いっぱい運動で花の種の配布

菊づくり講習会

一般市民を対象に3回にわたって開催した。

第42回市民植樹祭

苫小牧市立病院南側敷地において8種334本の植樹を行った。

ふれあい花壇の造成

市民会館前花壇に春夏秋に季節ごとの草花を植えた。

緑ヶ丘展望台緑化活動

緑ヶ丘展望台テラスへハンギングバスケットを設置した。

第20回おしゃれ園芸コンテスト

フラワープランターの部30点、ハンギングバスケットの部に18点の出品がありフラワーマスター他7名の審査により入賞作品が選出され展示が行われた。

第30回町内会花壇コンクール

町内会・老人クラブ等12団体が参加した。
最優秀賞 住吉泉町内会及び福寿会

第39回学校花壇コンクール

市内小中学校35校が参加した。
最優秀賞 泉野小学校

緑化施設見学会

「えこりん村銀河庭園」と「花ロードえにわ」の見学会を行った。

樹木探索会

高丘森林公園を散策した。



第42回 市民植樹祭



緑ヶ丘展望台緑化活動



緑化施設見学会



樹木探索会

50周年のあゆみ

平成25年

緑の募金活動

町内会、老人クラブ他団体による街頭募金
職場、学校、町内会、老人クラブ募金
当会役員によるセレモニー(苫小牧駅前)

緑化啓発普及

緑の新聞広告の掲載
広報「みどり」の配布

菊づくり講習会

一般市民を対象に3回にわたって開催した。

第43回 市民植樹祭

苫小牧市立病院南側敷地において7種374本の植樹を行った。

ふれあい花壇の造成

市民会館前花壇に春夏秋冬に季節ごとの草花を植えた。

緑ヶ丘展望台緑化活動

緑ヶ丘展望台テラスへハンギングバスケットを設置した。

第21回おしゃれ園芸コンテスト

フラワープランターの部35点、ハンギングバスケットの部に17点の出品がありフラワーマスター他9名の審査により入賞作品が選出され展示が行われた。

第31回町内会花壇コンクール

町内会・老人クラブ等8団体が参加した。
最優秀賞 柏木豊陵公園フラワークラブ

第40回学校花壇コンクール

市内小中学校32校が参加した。
最優秀賞 泉野小学校

緑化施設見学会

「南国植物園・色彩館」と「ゆにガーデン」の見学会を行った。

樹木探索会

高丘森林公園を散策した。



平成26年

緑の募金活動

町内会、老人クラブ他団体による街頭募金
職場、学校、町内会、老人クラブ募金
当会役員によるセレモニー(苫小牧駅前)

緑化啓発普及

緑の新聞広告の掲載
広報「みどり」の配布

菊づくり講習会

一般市民を対象に3回にわたって開催した。

第44回 市民植樹祭

緑ヶ丘公園においてナナカマドとレンギョウの苗木471本の植樹を行った。

ふれあい花壇の造成

市民会館前花壇に春夏秋に季節ごとの草花を植えた。

緑ヶ丘展望台緑化活動

緑ヶ丘展望台テラスへハンギングバスケットを設置した。

第22回 おしゃれ園芸コンテスト

フラワープランターの部37点、ハンギングバスケットの部に22点の出品がありフラワーマスター他6名の審査により入賞作品が選出され展示が行われた。

第32回 町内会花壇コンクール

町内会・老人クラブ等14団体が参加した。
最優秀賞 柏木町町内会フラワークラブ

第41回 学校花壇コンクール

市内小中学校31校が参加した。
最優秀賞 泉野小学校

緑化施設見学会

「百合が原公園」と「花ロードえにわ」の見学会を行った。

樹木探索会

高丘森林公園を散策した。



おしゃれ園芸コンテスト審査



ふれあい花壇



緑の募金活動 セレモニー



花壇コンクール

50周年のあゆみ

平成27年

緑の募金活動

町内会、老人クラブ他団体による街頭募金
職場、学校、町内会、老人クラブ募金
当会役員によるセレモニー(苫小牧駅前)

緑化啓発普及

緑の新聞広告の掲載
広報「みどり」の配布

菊づくり講習会

一般市民を対象に2回にわたって開催した。

ハナショウブ株分け講習会

錦大沼公園にて株分けから植え付けの講習を行った。

第45回 市民植樹祭

緑ヶ丘公園においてエゾヤマザクラ27本、ヨドガワ
ツツジ280本の植樹を行った。

ふれあい花壇の造成

市民会館前花壇に春夏秋に季節ごとの草花を植えた。

緑ヶ丘展望台緑化活動

緑ヶ丘展望台テラスへハンギングバスケットを設置
した。

第23回 おしゃれ園芸コンテスト

フラワープランターの部44点、ハンギングバスケットの部に19点の出品がありフラワーマスター他8名の審査により入賞作品が選出され展示が行われた。

第33回 町内会花壇コンクール

町内会・老人クラブ等10団体が参加した。
最優秀賞 宮の森町内会

第42回 学校花壇コンクール

市内小中学校31校が参加した。
最優秀賞 泉野小学校

緑化施設見学会

「イコロの森」市内他の見学会を行った。

樹木探索会

高丘森林公園を散策した。



第45回 市民植樹祭



ハナショウブ株分け講習会



樹木探索会



花壇コンクール 授賞式

平成28年

緑の募金活動

町内会、老人クラブ他団体による街頭募金
職場、学校、町内会、老人クラブ募金
当会役員によるセレモニー
(イオンモール苫小牧)

緑化啓発普及

緑の新聞広告の掲載
広報「みどり」の配布

菊づくり講習会

一般市民を対象に2回にわたって開催した。

庭造り講習会

初心者向けの講習会を開催した。

第46回 市民植樹祭

美沢の市有林においてカラマツの苗木2,086本の植樹を行った。

ふれあい花壇の造成

市民会館前花壇に春夏に季節ごとの草花を植えた。

緑ヶ丘展望台緑化活動

緑ヶ丘展望台テラスへハンギングバスケットを設置した。

第24回 おしゃれ園芸コンテスト

フラワープランターの部38点、ハンギングバスケットの部に21点の出品がありフラワーマスターの審査により入賞作品が選出され展示が行われた。

第34回 町内会花壇コンクール

町内会・老人クラブ等10団体が参加した。
最優秀賞 啓北町町内会(厚生部)

第43回 学校花壇コンクール

市内小中学校31校が参加した。
最優秀賞 泉野小学校

緑化施設見学会

「ノーザンホースパーク」、「サンガーデン(恵庭市)」の見学会を行った。

樹木探索会

高丘森林公園を散策した。



第46回 市民植樹祭



緑の募金活動 セレモニー



学校花壇コンクール 現地審査



菊づくり講習会

50周年のあゆみ

平成29年

緑の募金活動

町内会、老人クラブ他団体による街頭募金
職場、学校、町内会、老人クラブ募金
当会役員によるセレモニー（イオンモール苫小牧）

緑化啓発普及

緑の新聞広告の掲載
広報「みどり」の配布

菊づくり講習会

一般市民を対象に2回にわたって開催した。

フラワープランター作り教室

初心者向けの教室を開催した。

苫小牧アートフェスティバル

プランター作り教室で作られた作品を苫小牧アートフェスティバルにてプランター展示会を開催した。

第47回 市民植樹祭

美沢の市有林においてカラマツの苗木1,724本の植樹を行った。

ふれあい花壇の造成

市民会館前花壇に春夏に季節ごとの草花を植えた。

緑ヶ丘展望台緑化活動

緑ヶ丘展望台テラスへハンギングバスケットを設置した。

第35回 町内会花壇コンクール

町内会・老人クラブ等9団体が参加した。
最優秀賞 柏木町町内会(フワークラブ)

第44回 学校花壇コンクール

市内小中学校30校が参加した。
最優秀賞 泉野小学校

緑化施設見学会

「国営滝野すずらん丘陵公園」、「花ロードえにわ」の見学会を行った。

樹木探索会

錦大沼公園を散策した。



第47回 市民植樹祭



緑化施設見学会



フラワープランター作り教室



苫小牧アートフェスティバル

平成30年

緑の募金活動

町内会、老人クラブ他団体による街頭募金
職場、学校、町内会、老人クラブ募金
当会役員によるセレモニー（イオンモール苫小牧）

緑化啓発普及

緑の新聞広告の掲載
広報「みどり」の配布

菊づくり講習会

一般市民を対象に2回にわたって開催した。

フラワープランター作り教室

初心者向けの教室を開催した。

第48回 市民植樹祭

美沢の市有林においてカラマツの苗木1,655本の
植樹を行った。

ふれあい花壇の造成

市民会館前花壇に春夏に季節ごとの草花を植えた。

緑ヶ丘展望台緑化活動

緑ヶ丘展望台テラスへハンギングバスケットを設置した。

第36回 町内会花壇コンクール

町内会・老人クラブ等9団体が参加した。
最優秀賞 柏木町町内会(フワークラブ)

第45回 学校花壇コンクール

市内小中学校28校が参加した。
最優秀賞 泉野小学校

緑化施設見学会

「イコロの森」、「錦大沼ハナショウブ園」の見学
会を行った。

樹木探索会

※台風により中止した。



菊づくり講習会



第48回 市民植樹祭



緑の募金活動 セレモニー



緑化施設見学会

50周年のあゆみ

平成31年 令和元年

緑の募金活動

町内会、老人クラブ他団体による街頭募金
職場、学校、町内会、老人クラブ募金
当会役員によるセレモニー（イオンモール苫小牧）

緑化啓発普及

緑の新聞広告の掲載
広報「みどり」の配布

菊づくり講習会

一般市民を対象に2回にわたって開催した。

フラワープランター作り講習会

初心者向けの教室を開催した。

第49回 市民植樹祭

オートリゾート苫小牧アルテンにおいてニトリザクラ5本とレンギョウの苗木400本の植樹を行った。

ふれあい花壇の造成

市民会館前花壇に春夏に季節ごとの草花を植えた。

緑ヶ丘展望台緑化活動

緑ヶ丘展望台テラスへハンギングバスケットを設置した。

第37回 町内会花壇コンクール

町内会・老人クラブ等8団体が参加した。
最優秀賞 柏木町町内会(フラワークラブ)

第46回 学校花壇コンクール

市内小中学校26校が参加した。
最優秀賞 泉野小学校

緑化施設見学会

「ノーザンホースパーク」、「錦大沼ハナショウブ園」の見学会を行った。

樹木探索会

錦大沼公園を散策した。



緑の募金活動 街頭募金
ガールスカウト



フラワープランター作り教室



学校花壇コンクール 現地審査



緑化施設見学会

令和2年 50周年

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により事業縮小

緑の募金活動

職場、学校、町内会、老人クラブ募金

緑化啓発普及

緑の新聞広告の掲載

広報「みどり」の配布

ふれあい花壇の造成

市民会館前花壇に春夏に季節ごとの草花を植えた。

樹木探索会

出光カルチャーパークを散策した。





受 賞 歴

昭和55年 5 月 緑化推進功勞者表彰
(北海道国土緑化推進委員会)

昭和59年10月 建設大臣感謝状 (建設大臣)

昭和59年11月 苫小牧郷土貢献者表彰 (苫小牧市長)

昭和60年 3 月 北海道知事感謝状 (北海道知事)

昭和60年 5 月 北海道産業貢献賞 (北海道知事)

昭和61年 5 月 緑化推進運動功勞者内閣総理大臣表彰





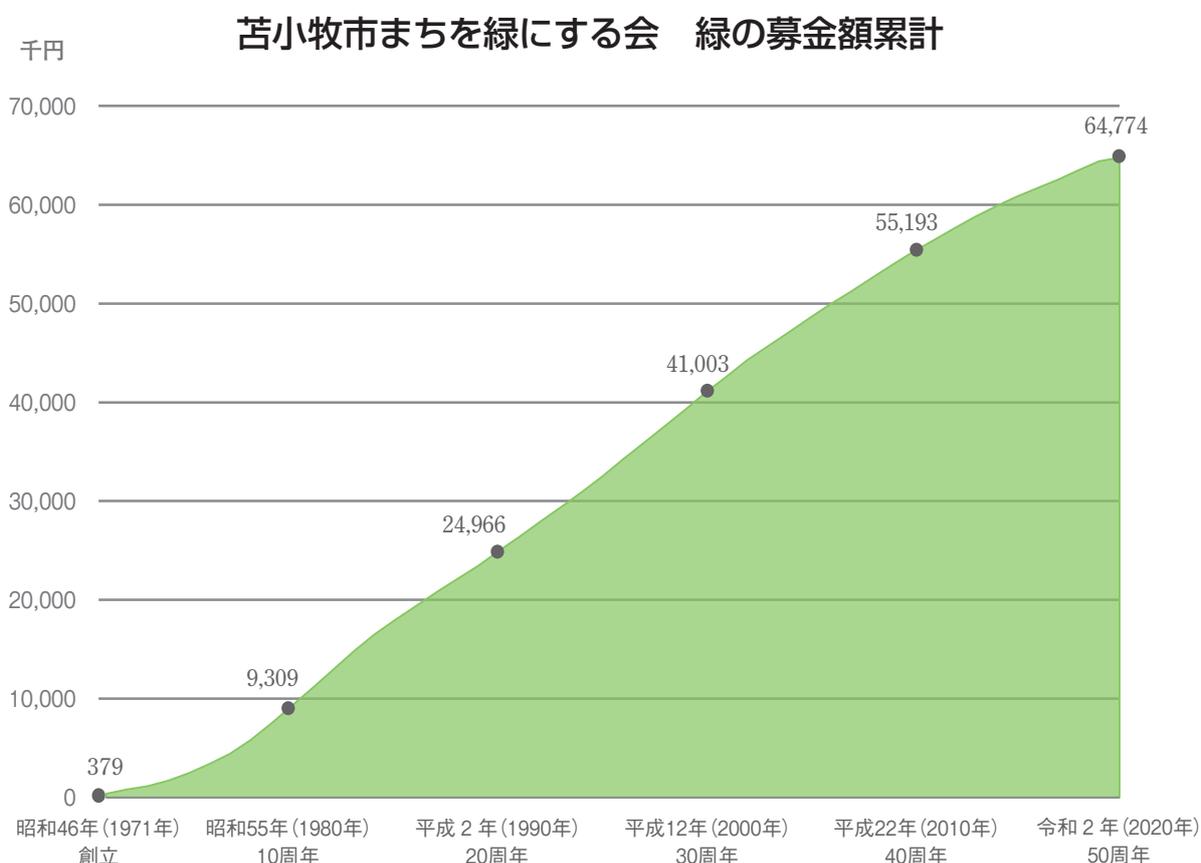
緑の募金について

緑の募金運動が開始されたのは、戦後の昭和25年でした。当時は戦争の影響で緑が焼失したり、なぎ倒されたりと、山林の荒廃が進んでいました。人々は荒れ果てた国土に「緑」を取り戻そうと森林の復興に立ち上がり、「緑の募金」の前身である「緑の羽根募金」が誕生しました。

その後、法的整備の必要性から平成7年「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」(以下「緑の募金法」という。)が制定され、募金の名称も「緑の募金」に変わり、現在にいたっています。

苫小牧市まちを緑にする会は、昭和46年の創立以来、町内会や老人クラブ、苫小牧市赤十字奉仕団、企業や学校等の団体の協力のもと、緑の募金活動を行ってきました。令和2年度で活動50年を迎え、募金額の累計は64,773,621円となりました。

緑の募金は「苫小牧市まちを緑にする会」が行っている「市民植樹祭」や「花壇コンクール」、「樹木探索会」等の市内の緑のまちづくり事業に活用されています。



苫小牧市まちを緑にする会

植樹実績

【合計】

植樹本数 48,323 本
植樹回数 62 回

【緑ヶ丘公園周辺】

植樹本数 17,061 本
植樹回数 26 回

【高丘森林公園】

植樹本数 11,961 本
植樹回数 5 回

【川沿公園】

植樹本数 300 本
植樹回数 1 回

【錦大沼公園】

植樹本数 1,001 本
植樹回数 5 回

【花園公園】

植樹本数 435 本
植樹回数 3 回

【臨港1号緑地】

植樹本数 2,717 本
植樹回数 4 回

【美沢市有林】

植樹本数 5,465 本
植樹回数 3 回

【住吉公園】

植樹本数 80 本
植樹回数 1 回

【ウトナイ湖周辺】

植樹本数 210 本
植樹回数 1 回

【出光カルチャーパーク】 （市民文化公園）

植樹本数 5,938 本
植樹回数 5 回

【勇払周辺】

植樹本数 3,135 本
植樹回数 7 回

【北光町未来の森公園】

植樹本数 20 本
植樹回数 1 回

苦小牧市まちを緑にする会 歴代役員 (敬称略)

西暦	元号	周年	会 長		副 会 長		理 事						
			王子製紙(株) 苦小牧工場	王子 サービス センター(株)	山大産業(株)	苦小牧市 森林組合 穂別苦小牧 森林組合 苦小牧広域 森林組合	国際パルプ 工業 山陽国策 パルプ 工業(株) 日本製紙(株) 勇払工場	王子 サービス センター(株)	苦小牧 商工会議所	一般社団法人 苦小牧 観光協会	苦小牧市 町内会 連 合 会	苦小牧市 婦人団体 連絡協議会	勇払自治会 婦 人 部
1971	昭和46年	1	竹内 貞一		岩倉 賢周	薦森 春明	瀬戸 藤市		岩倉 春治 岩倉 卷次	宮本 義勝	矢嶋 潔	藤枝ひで子 岡島 ハナ	
1972	昭和47年	2	加賀 庄司		岩倉 賢周	薦森 春明	林 輝一		岩倉 卷次	宮本 義勝	矢嶋 潔	藤枝ひで子	
1973	昭和48年	3	加賀 庄司 英介		岩倉 賢周	薦森 春明	林 輝一		岩倉 卷次	宮本 義勝	矢嶋 潔	藤枝ひで子	
1974	昭和49年	4	庄 英介		岩倉 賢周	薦森 春明	林 輝一		岩倉 卷次	宮本 義勝	矢嶋 潔	藤枝ひで子	
1975	昭和50年	5	庄 英介		岩倉 賢周	薦森 春明	足立 久雄		岩倉 卷次	宮本 義勝	矢嶋 潔	西村 陽子	
1976	昭和51年	6	庄 英介		岩倉 賢周	薦森 春明	足立 久雄		岩倉 卷次	宮本 義勝	矢嶋 潔	西村 陽子	
1977	昭和52年	7	庄 英介		岩倉 賢周	薦森 春明	足立 久雄		岩倉 卷次 藤田 隆一	宮本 義勝	矢嶋 潔	西村 陽子	
1978	昭和53年	8	庄 英介		岩倉 賢周	薦森 春明	越智 勇		藤田 隆一	宮本 義勝	矢嶋 潔	西村 陽子	
1979	昭和54年	9	竹橋 欣司		岩倉 賢周	薦森 春明	越智 勇		藤田 隆一	宮本 義勝	矢嶋 潔	西村 陽子	
1980	昭和55年	10周年	竹橋 欣司		岩倉 賢周	薦森 春明	越智 勇		藤田 隆一	宮本 義勝	矢嶋 潔	西村 陽子	
1981	昭和56年	11	竹橋 欣司		岩倉 賢周	薦森 春明	越智 勇		藤田 隆一	宮本 義勝	池田 秀治	西村 陽子	
1982	昭和57年	12	竹橋 欣司 海津 文彦		岩倉 賢周	薦森 春明 丹治 一三	一針 善彦		藤田 隆一	成田 繁 小保方一雄	村上 盛雄	西村 陽子	
1983	昭和58年	13	海津 文彦		岩倉 賢周	丹治 一三	一針 善彦 藤井 昌明		藤田 隆一 阿部 敏雄	小保方一雄	村上 盛雄 佐藤正太郎	三浦美智子	
1984	昭和59年	14	海津 文彦		岩倉 賢周	丹治 一三	藤井 昌明		阿部 敏雄	小保方一雄	佐藤正太郎	三浦美智子	
1985	昭和60年	15		海津 文彦	岩倉 賢周	丹治 一三	藤井 昌明 打越 志郎		阿部 敏雄	小保方一雄	永井 英夫 小松 智元	三浦美智子	
1986	昭和61年	16		海津 文彦	岩倉 賢周	丹治 一三	打越 志郎		阿部 敏雄 渡邊 三郎	小保方一雄	小島 啓道	三浦美智子	
1987	昭和62年	17	村瀬 眞	海津 文彦	岩倉 賢周	丹治 一三	打越 志郎 中村 暁三		渡邊 三郎	小保方一雄	小島 啓道		片石美智代
1988	昭和63年	18	村瀬 眞		岩倉 賢周	丹治 一三	中村 暁三	海津 文彦	渡邊 三郎	小保方一雄	小島 啓道		片石美智代
1989	平成元年	19	村瀬 眞		岩倉 賢周	丹治 一三	中村 暁三	海津 文彦	渡邊 三郎 中村 光雄	小保方一雄	小島 啓道		片石美智代
1990	平成2年	20周年	村瀬 眞		岩倉 賢周	丹治 一三	中村 暁三	海津 文彦	中村 光雄	小保方一雄	小島 啓道		片石美智代
1991	平成3年	21	村瀬 眞 木下 克彦		岩倉 賢周	丹治 一三	中村 暁三 石川 敏之	海津 文彦	中村 光雄	小保方一雄	小島 啓道		片石美智代
1992	平成4年	22	木下 克彦		岩倉 賢周	丹治 一三	石川 敏之	海津 文彦	中村 光雄	小保方一雄	亀谷 正一		片石美智代
1993	平成5年	23	木下 克彦		岩倉 賢周	丹治 一三	石川 敏之	海津 文彦	中村 光雄	福原 周一	亀谷 正一		片石美智代
1994	平成6年	24	木下 克彦		岩倉 賢周	丹治 一三	石川 敏之	海津 文彦	中村 光雄	福原 周一	亀谷 正一		片石美智代
1995	平成7年	25	木下 克彦		岩倉 賢周	丹治 一三	遠藤陽太郎	海津 文彦	中村 光雄	福原 周一	亀谷 正一		片石美智代
1996	平成8年	26	木下 克彦 高嶋 浩		岩倉 賢周	丹治 一三	遠藤陽太郎		中村 光雄	福原 周一	佐藤 金三		片石美智代
1997	平成9年	27	高嶋 浩		岩倉 賢周	丹治 一三	遠藤陽太郎		中村 光雄	石田 勝克	佐藤 金三		片石美智代
1998	平成10年	28	高嶋 浩		岩倉 賢周	丹治 一三	遠藤陽太郎 大即 信行		中村 光雄	石田 勝克	佐藤 金三 今成 重男		片石美智代
1999	平成11年	29	高嶋 浩 篠田 和久		岩倉 圭彦	丹治 一三	大即 信行		中村 光雄	石田 勝克 小林 正三	今成 重男		片石美智代
2000	平成12年	30周年	篠田 和久		岩倉 圭彦	薦森 勝征	大即 信行 中村 雅知		中村 光雄	小林 正三	今成 重男		片石美智代

理事						監事						
苦小牧市民報社	苦小牧市署 宮林署 胆振東部 森林管理署 苦小牧 森林事務所	苦小牧市 教育委員	一般社団法人 苦小牧 青年會議所	王子木材(株) 王子緑化(株) 北海道支店 王子木材 緑化(株) 苦小牧営業所 苦小牧出張所	苦小牧市長	苦小牧 郷土文化 研究会	王子緑化(株) 北海道支店 王子木材 緑化(株) 苦小牧営業所 苦小牧出張所	北小牧 地方演習林	勇弘婦人会 婦人部	苦小牧 婦人団体 連絡協議会	苦小牧 組合	苦小牧市 町内会 連合会
炭谷 肇	小野塚利雄 武田 俊	小林 吾妻 対馬 豊三		加賀 正司	大泉 源郎	門脇松次郎		氏家 雅男				
炭谷 肇	武田 俊	対馬 豊三		加賀 正司	大泉 源郎	門脇松次郎		氏家 雅男				
炭谷 肇	武田 俊 赤坂 広康	対馬 豊三 小林 吾妻		浦野 修治	大泉 源郎	門脇松次郎		氏家 雅男				
炭谷 肇	赤坂 広康	小林 吾妻		浦野 修治	大泉 源郎	門脇松次郎		石城 謙吉				
炭谷 肇	赤坂 広康	対馬 豊三		浦野 修治	大泉 源郎	門脇松次郎		石城 謙吉				
炭谷 肇	窪田 木三	太田 俊雄		浦野 修治	大泉 源郎	門脇松次郎		石城 謙吉				
炭谷 肇	窪田 木三	太田 俊雄		浦野 修治	大泉 源郎	門脇松次郎			片石美智代			
炭谷 肇	鈴木 康之	太田 俊雄		高橋 卓郎	大泉 源郎	門脇松次郎			片石美智代			
炭谷 肇	鈴木 康之	黒沢みつゑ		高橋 卓郎	大泉 源郎	門脇松次郎			片石美智代			
炭谷 肇	高橋 正行	梅津 三千		高橋 卓郎	大泉 源郎	門脇松次郎			片石美智代			
炭谷 肇	高橋 正行	梅津 三千		高橋 卓郎	大泉 源郎	門脇松次郎			片石美智代			
炭谷 肇	高橋 清彦	山下 正 小山藤市郎		高橋 卓郎	大泉 源郎	門脇松次郎			片石美智代			
炭谷 肇	高橋 清彦 小野 廣	小山藤市郎 中澤 靖吾		高橋 卓郎	大泉 源郎 板谷 實	門脇松次郎			片石美智代			
炭谷 肇	小野 廣	中澤 靖吾		高橋 卓郎	板谷 實	門脇松次郎			片石美智代			
炭谷 肇	小野 廣	小山藤市郎		高橋 卓郎 早川 昇	板谷 實	門脇松次郎			片石美智代			
炭谷 肇	小野 廣 久積 克郎	小山藤市郎		早川 昇	板谷 實	門脇松次郎			片石美智代			
炭谷 肇 中澤 啓次	久積 克郎	小山藤市郎	齊藤 仁		板谷 實 鳥越 忠行		早川 昇		吉田登美子			
中澤 啓次	久積 克郎	小山藤市郎	田村 雄二		鳥越 忠行		早川 昇		吉田登美子			
中澤 啓次	岩佐 正行	小山藤市郎	渡辺 健治		鳥越 忠行		早川 昇		吉田登美子			
中澤 啓次	岩佐 正行 中島 重光	福原 周一 佐久間淳子	渡辺 健治		鳥越 忠行		早川 昇		吉田登美子			
中澤 啓次	中島 重光	佐久間淳子	佐藤 幸博		鳥越 忠行		早川 昇		吉田登美子			
中澤 啓次	中島 重光	佐久間淳子 渡辺 正	成田 幸隆		鳥越 忠行		早川 昇		吉田登美子			
中澤 啓次	小野 博	渡辺 正	石塚 久博		鳥越 忠行		早川 昇		吉田登美子			
中澤 啓次	砂田 隆	渡辺 正	中村 友和		鳥越 忠行		菱川 和郎		吉田登美子			
中澤 啓次	山崎 通則	渡辺 正	山崎 肇		鳥越 忠行		菱川 和郎		吉田登美子			
中澤 啓次	山崎 通則	渡辺 正	吉田 幸徳		鳥越 忠行		山神 重信		吉田登美子			
中澤 啓次	脇原 孝	渡辺 正 田村 昭	木村 司		鳥越 忠行		山神 重信		吉田登美子			
中澤 啓次	脇原 孝	田村 昭	橋 勇治		鳥越 忠行		山神 重信		吉田登美子			
中澤 啓次	堀口 輝幸	田村 昭	小栗智加志		鳥越 忠行		山神 重信		吉田登美子			
中澤 啓次	堀口 輝幸 片山 守	田村 昭 吉本 俊憲	福井 洋幸		鳥越 忠行		山神 重信		吉田登美子			

苦小牧市まちを緑にする会 歴代役員 (敬称略)

西暦	元号	周年	会 長		副 会 長		理 事						
			王子製紙(株) 苦小牧工場	王子 サービス センター(株)	山大産業(株)	苦小牧市 森林組合 穂別苦小牧 森林組合 苦小牧広域 森林組合	国際パルプ 工業 山陽国策 パルプ 工業(株) 日本製紙(株) 勇払工場	王子 サービス センター(株)	苦小牧 商工会議所	一般社団法人 苦小牧 観光協会	苦小牧市 町内会 連 合 会	苦小牧市 婦人団体 連絡協議会	勇払自治会 婦 人 部
2001	平成13年	31	篠田 和久 高野 紘三		岩倉 圭彦	薦森 勝征	中村 雅知		中村 光雄	小林 正三	今成 重男		片石美智代
2002	平成14年	32	高野 紘三		岩倉 圭彦	薦森 勝征	中村 雅知		中村 光雄	小林 正三	今成 重男		片石美智代
2003	平成15年	33	高野 紘三 枝川 知生		岩倉 圭彦	薦森 勝征	橋本 建夫		中村 光雄	小林 正三	今成 重男		片石美智代
2004	平成16年	34	枝川 知生		岩倉 圭彦	薦森 勝征	橋本 建夫		中村 光雄	小林 正三	今成 重男		片石美智代
2005	平成17年	35	枝川 知生 木塚 浩		岩倉 圭彦	薦森 勝征	伊藤與四郎		笠原 晃	小林 正三	丹羽 秀則		片石美智代
2006	平成18年	36	木塚 浩		岩倉 圭彦	薦森 勝征	倉田 博美		藤田 博章	小林 正三	丹羽 秀則		片石美智代
2007	平成19年	37	生方健二郎		岩倉 圭彦	薦森 勝征	倉田 博美		藤田 博章	福原 次郎	橋本 素磊		片石美智代
2008	平成20年	38	武田 芳明		岩倉 圭彦	薦森 勝征	倉田 博美		藤田 博章	福原 次郎	橋本 素磊		片石美智代
2009	平成21年	39	竹俣 一芳		岩倉 圭彦	薦森 勝征	倉田 博美		藤田 博章	福原 次郎	橋本 素磊		片石美智代
2010	平成22年	40周年	竹俣 一芳		岩倉 圭彦	薦森 勝征	大田 雅彦		藤田 博章	福原 次郎	橋本 素磊 高橋 慧		
2011	平成23年	41	関口 厚志		岩倉 圭彦	薦森 勝征	大田 雅彦		藤田 博章	福原 次郎	高橋 慧		
2012	平成24年	42	関口 厚志		岩倉 圭彦	薦森 勝征	太田 雅彦 濱沖 賢		藤田 博章	福原 次郎	高橋 慧 甲谷 久		
2013	平成25年	43	関口 厚志		岩倉 圭彦	薦森 勝征	濱沖 賢		藤田 博章	福原 次郎	甲谷 久		
2014	平成26年	44	関口 厚志		岩倉 圭彦	薦森 幸治	濱沖 賢		藤田 博章	福原 次郎	甲谷 久		
2015	平成27年	45	関口 厚志		岩倉 圭彦	薦森 幸治	今野 武夫		藤田 博章	福原 次郎	甲谷 久		
2016	平成28年	46	横溝 元彦		岩倉 圭彦	薦森 幸治	今野 武夫		宮本 知治	福原 次郎	甲谷 久		
2017	平成29年	47	横溝 元彦		岩倉 圭彦	薦森 幸治	今野 武夫		宮本 知治	藤岡 照宏			
2018	平成30年	48	鈴木 雄輔		岩倉 圭彦	薦森 幸治	飯塚 匡信		宮本 知治	藤岡 照宏			
2019	平成31年 令和元年	49	鈴木 雄輔		岩倉 圭彦	薦森 幸治	飯塚 匡信		宮本 知治	藤岡 照宏			
2020	令和2年	50周年	桑村 文昭		岩倉 圭彦	薦森 幸治			宮本 知治	藤岡 照宏			

理 事					監 事								
苦小牧市民報社	苦小牧市 宮林署 胆振東部 森林管理署 苦小牧 森林事務所	苦小牧市 教育委員	一般社団法人 苦小牧 青年會議所	王子木材(株) 王子緑化(株) 北海道支店 王子木材 緑化(株) 苦小牧営業所 苦小牧出張所	苦小牧市長	苦小牧 郷土文化 研究会	王子緑化(株) 北海道支店 王子木材 緑化(株) 苦小牧営業所 苦小牧出張所	北小牧 地方演習林	勇弘婦人会 婦人部	苦小牧 婦人団体 連絡協議会	苦小牧 園芸組合	苦小牧 町内会	苦小牧 市会
中澤 啓次	片山 守	吉本 俊憲	福井 洋幸		鳥越 忠行		山神 重信			吉田登美子			
中澤 啓次		吉本 俊憲	吉田 正範		鳥越 忠行		山神 重信			吉田登美子			
中澤 啓次		吉本 俊憲	岩村 孝徳		櫻井 忠		工藤 隆				青木 孝吉		
中澤 啓次		吉本 俊憲	工藤 祐介		櫻井 忠		工藤 隆				青木 孝吉		
中澤 啓次		吉本 俊憲	神田 英俊		櫻井 忠		工藤 隆				青木 孝吉		
宮本 知治		吉本 俊憲	土屋 英樹		櫻井 忠 岩倉 博文		工藤 隆				青木 孝吉		
宮本 知治		吉本 俊憲	米田 嘉慎		岩倉 博文		工藤 隆				青木 孝吉		
宮本 知治		吉本 俊憲	藤田健次郎		岩倉 博文		工藤 隆				青木 孝吉		
宮本 知治		吉本 俊憲	廣澤 隆		岩倉 博文		工藤 隆						
宮本 知治		吉本 俊憲	伊部 尚弘		岩倉 博文		工藤 隆			片石美智代			
宮本 知治		上原 毅	藤 淳一		岩倉 博文		工藤 隆			片石美智代			
宮本 知治		上原 毅	廣澤 隆		岩倉 博文		三浦 務			片石美智代			
宮本 知治		上原 毅	廣澤 隆		岩倉 博文		三浦 務			片石美智代			
宮本 知治		上原 毅	矢木 拓郎		岩倉 博文		三浦 務			片石美智代			
宮本 知治		上原 毅	大槻 卓矢		岩倉 博文		岩花三八雄			片石美智代			
横田 泰正		上原 毅	山本 康二		岩倉 博文		松浦 剛史			片石美智代			
横田 泰正		上原 毅	鏡 由伸		岩倉 博文		松浦 剛史					甲谷 久	
横田 泰正		上原 毅	丹治 秀章		岩倉 博文		大友 聡					甲谷 久	
横田 泰正		岡田 秀樹	渡辺 秀敏		岩倉 博文		猫塚 洋一					甲谷 久	
宮本 知治		岡田 秀樹	阿部 和法		岩倉 博文		大友 聡					甲谷 久 大宮 勲	

昭和50年

苫小牧市役所

出光カルチャーパーク

苫小牧市役所周辺今昔

国土地理院 空中写真を加工して作成

苫小牧市役所

出光カルチャーパーク

平成30年

昭和50年

木もれびの道

柏木・川沿町周辺今昔

国土地理院 空中写真を加工して作成

木もれびの道

平成30年

50th

ANNIVERSARY

事務局 苦小牧市まちを緑にする会
苦小牧市旭町4丁目5番6号
苦小牧市都市建設部緑地公園課内
Tel 0144-32-6507

発行 令和3年(2021年)3月31日

印刷 北光印刷株式会社